

委員会の議案・請願審査報告 (14日)

一し尿処理場問題に対して質問集中一

総務委員長議案・請願審査報告

一9月第三回定例会において審査を付託された案件について報告一

○議案第72号三鷹市営住宅管理条例の一部を改正する条例 (中間報告)

○請願第28号固定資産税減免方について (中間報告)

○請願第29号固定資産税及び償却資産税の免除方について (中間報告)

○請願第22号市営住宅転用方について (不採択)

▽委員長報告通り不採択と決定

市内ガス普及促進対策特別委員長報告
一この特別委員会は6月の定例会において「市内にガスを普及させるためその対策を考究し、促進する」ことを目的として設置されたもの一

○ガス普及対策の促進について

委員会設置以来、前後数回委員会を開き市内のガス普及程度、未敷設地域の需要度と自主的に組織されている普及会の実情、東京ガス社の敷設計画とその見通し、近隣市町のガス普及に伴う体験談の聴取と実地見聞等を調査し、その資料を参考に審査した結果

①本市のガス普及率は34年1月現在、総世帯数に対して34%を示しており、今後は未敷設地域の希望者に対して市が普及のための組織作りや、運営方法を指導し、ガス会社との交渉、斡旋を積極的に行うこと。

②工事費については(1)積立式(2)一時借入式(3)後払式の3方法の中、その地区に最も適した方法を指導し、金融機関に対して十分連絡協議をすること。

③被保護世帯、準被保護世帯のガス施設についても十分考究すること。

④以上の措置を講ずるため市長を中心に議会、未敷設地区住民代表等で構成した恒久的な「ガス普及委員会」を設置してガス施設促進に努力すること。

▽特別委員長報告通り市長に送付
なお、これによって本特別委員会は任務終了により解散した。

厚生委員長請願、陳情審査報告

一11月30日第4回臨時会において審査を付託された案件についての報告一

○請願第34号し尿処理場設置反対について (中間報告)

○陳情第4号し尿処理場建設反対について (中間報告)

この報告について次のような質問が行われた。

質問 市政質問において市長はし尿処理場を建設することを言明したが、地元住民のこれに対する反対の血の叫びを無視して断行するの、執行に当たって具体的構想と内容を発表せよ。

市長 本件については三鷹市長、調布市長、ふじみ衛生組会の3者が相談してやるべきものだが、三鷹市長としての考え方は(1)施設に関しては完備する。附近住民の心理的、親念的なものはぬぐえないが、物質的設備の面においては完璧を期すよう努力したい。(2)建設地の北側から道路に面した土地を買収して市庁舎、公民館を建て、し尿処理施設そのもの(約4.5千坪)には周囲に土堤を築いて、外からは見えないようにし、空地は総合グラウンドに使いたい。(3)し尿運搬車の通る道路については都の協力を得て拡張し、市道についても整備したい。

質問 今日までの審査において、代替地の具体的なものがあつたか。

厚生委員長 現在の場所より更に西南部の水田が1万余坪と、三鷹高校そばの7.8千坪の2ヶ所が話に出た。

質問 市長は職を賭しても着手すると言いつた委員報告では12月中に代替地がみつければその方へ移ることもよいと言っている。この二つのことと議会の空気を今後円満解決策に対する見通しと、委員長の心境はどうか。

厚生委員長 今日までの段階では、もし代替地が得られれば再考してもよいではないかということ審議しているが、心境としては十の中八までは困難であろう。起死回生の案が出ればそれを取り上げて議会に報告したい。

○陳情第3号し尿処理場設置反対について (取下願により取下げ)

▽委員長報告通り取下願を了承

- 1 議案第92号 三鷹市職員定数条例の一部を改正する条例 原案可決
2 議案第93号 三鷹市消防団条例の一部を改正する条例 原案可決
3 議案第94号 三鷹市営競馬条例の一部を改正する条例 原案可決
4 議案第95号 市道の路線の廃止について 原案可決
5 議案第96号 第四中学校増築工事請負契約の締結について 原案可決
6 議案第97号 会計機の購入について 原案可決
7 議案第98号 昭和34年度三鷹市歳入歳出追加予算 原案可決
8 議案第99号 昭和34年度三鷹市共同作業所費会計歳入歳出追加予算 原案可決
9 議案第100号 昭和34年度三鷹市公益質屋費会計歳入歳出追加予算 原案可決
10 議案第101号 昭和34年度三鷹市国民健康保険費会計歳入歳出追加予算 原案可決

- 11 議案第102号 昭和34年度三鷹市上水道事業費会計歳入歳出追加更正予算 原案可決
12 議案第103号 昭和33年度三鷹市歳入歳出決算の認定について
13 議案第104号 昭和33年度三鷹市共同作業所費会計歳入歳出決算の認定について
14 議案第105号 昭和33年度三鷹市競馬事業費会計歳入歳出決算の認定について
15 議案第106号 昭和33年度三鷹市公益質屋費会計歳入歳出決算の認定について
16 議案第107号 昭和33年度三鷹市国民健康保険費会計歳入歳出決算の認定について
17 議案第108号 昭和33年度三鷹市上水道事業費会計歳入歳出決算の認定について
(議案第103号から第107号までは決算審査特別委員会付託)
18 議案第109号 固定資産評価審査委員会委員の選任について 原案同意

上程議案とその結果

第四回定例会

一昭和33年度決算は第2日目冒頭に上程され、財務課長より概要の説明を聞き、次のような総括質問が行われた後、決算審査特別委員会に付託し、議会閉会中も継続審査できるよう決定した。

質問 議会側の強力な要求により昭和32年度決算は昨年9月の定例会に提出され、12月の定例会で認定し、新年度予算審議に大へん参考となったが今年12月に提案した理由を伺いたい。

助役 議会の要望に応えるべく、努力し、本年8月15日には完成し、監査委員の審査に付するため送付した。

質問 監査委員は8月中旬に市長から送付された決算書を、9月定例会までに審査を完了できなかった理由を説明願いたい。

根岸監査委員 議会の要望を決して忘却したわけではないが、市長から送付されたときは、たまたま都下各市で「自動車の維持管理」について同時監査が行われていたため、決算については川瀬監査委員と相談の結果、本定例会に提出することになった。遅れたことはお詫びする。

質問 前期議会で打ち立てられたよい習慣を今期議会に継承できなかったことは残念である。又監査は摘発主義でなく、指導監査を望んでいるので今後の活動に期待するが、行政監査を行う計画があるか。

根岸監査委員 行政監査については都下10市でも話し合っており、三鷹市の監査委員としても市長に意見具申はしている。

質問 ①市税の総収入に対する比率において32年度は56.3%、33年度は57.3%となっており、市の経済力はそれ程弱くとは思えないが、歳入歳出総額の比率から見ると32年度は96.2%、33年度は82.2%と大分減少している。このことは収入の見積り過大が原因なのか、市の総合力の低下を意味しているのか。

②市税の予算に対する取入率は104.1%であるのに、公営企業及び財産収入の率は76%と少いのは理事者の努力の不足が原因しているのではないかと。

いくら総予算額が7億円以上あっても、実際の決算は594,370,050円で、これが本市のもつ実際の力であり、しかも国庫支出金、都支出金等のいわゆる理事者が相当努

力を要すると思われる起債補助金等の収入が極めて少いのは将来のため理事者は反省を要すると思われるし、そのために実際の仕事量はそこまで進められていない。その例は土木費の43.1%にみられる。どこかに欠陥があると思われるが、これに対する見解はどうか。

③土木費が43.1%しか執行できなかった理由はどうか、一部は34年度に繰越したものもあろうが、不確定財源(起債、補助)が比較的多く充てられる傾向が強いからではないのか。

助役 市政執行上の財源獲得に当たっては極力努力を続けて来ているが、最大の隘路は土地の買収が困難なために着手できない面が数多くあることは事実であり、大いに反省はしている。

土木費だけに不確定財源を充てるという予算の編成はしていない。起債、補助を最大限獲得すべく努力をし、一般収入も充てて建設事業には力を入れているが次年度繰越が重なって来たものが土木事業の中に多く含まれておたということ御了承願いたい。

質問 私はこの決算をみて市政の実態とその欠陥をよく把握をし、その上に立てて明35年度の子算でいかにしてそれを克服するか解決するかを検討しなければならぬ。そこに決算を審査する大きな意義があると考える。そのような眼からこの決算をみて起債、補助の獲得に努力していることはよいが、反面市の入息態勢が十分整っていないことが、この決算に表われて来たのだと思うが、これの解決に対する具体的考え方はどうか。

助役 入息態勢については、市の内部機構を整備し、万全を期するよう着々陣容の強化中で、不十分なが仕事は進捗している。

一決算審査特別委員会委員氏名一

- 委員長 黒宮敬光 委員 実藤 一
副委員長 久富徳松 加藤 平
委員 指田正治 三上 公
" 大山正雄 吉野 七郎
" 鈴木慶次 石谷 清子
" 高谷 太郎 以上11名

決算 一般会計 提案される

昭和33年度三鷹市歳入歳出決算総括表

Table with 5 columns: 会計別, 歳入決算額, 歳出決算額, 差引残額(翌年度へ繰越), 摘要. Rows include 一般会計, 共同作業所費会計, 競馬事業費会計, 公益質屋費会計, 国民健康保険費会計, 上水道事業費会計, and 総計.